

記入例

様式第1号（第7条関係）

提出する年月日を記入

令和6年〇月〇日

（宛先）高松市長

申請者所在地 高松市〇〇町〇〇〇番地〇
名称 株式会社〇〇〇〇
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇
（個人にあっては、住所及び氏名）
電話番号 〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇
E-mail メールアドレスを記入ください。

高松市伝統的ものづくり後継者育成支援奨励金交付申請書

年度において次のとおり高松市伝統的ものづくり後継者育成支援奨励金（以下「奨励金」という。）の交付を受けたいので、高松市伝統的ものづくり後継者育成支援奨励金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて申請します。

奨励金申請額	300,000円※
技術指導の 対象者氏名	たかまつ はなこ 高松 花子
着手・完了予定 年 月 日	着手予定年月日 令和6年10月1日 完了予定年月日 令和7年3月31日
添付書類	(1)技術指導計画書（様式第2号） (2)収支予算書（様式第3号）（第3条第1項第2号に掲げる者に限る。） (3)誓約書（様式第4号） (4)技術指導を受ける者の履歴書 (5)申請者が行っている事業の概要が分かる書類（定款、パンフレット等） (6)交付申請日までに納期の到来した申請者の本市の市税に係る滞納無証明書 (7)その他市長が必要と認める書類

※ 奨励金申請額は、技術指導を行う予定の月数に5万円を乗じて得た額を記載してください。

記入例

様式第2号（第7条関係）

技術指導計画書

※審査の際に重要な資料となりますので、具体的かつ分かりやすいよう記載を心がけてください。

伝統的ものづくりの品目※1		香川漆器	
到達目標※2		・どのような技術習得をどのレベルまで目指すのか。 ・コンクールや展示会等への出展を目指す場合、その名称。 ・当該事業の実施後、技術指導を受けた者がどのように伝統的ものづくりに携わっていくのか。	
技術指導の内容※3		どのような技術をどのようなスケジュールで、どのような工程で指導を行うのか具体的に記載して下さい。 ・1日の予定技術指導時間と月の予定技術指導時間。 技術指導の内容については、あくまで予定ですので、進捗状況に応じて変更していただいて構いません。	
指導者	氏名	高松 太郎	
	経歴※4	資格	実績
		伝統工芸士（国）	○○展示会 出展 ○○賞 受賞

産地組合が行う事業にあたっては、組合員のみとします。

- ※1 伝統的ものづくりの品目の欄は、技術指導の対象とする高松市伝統的ものづくり振興条例第2条第1号に規定するもの（盆栽を除く。）の名称を正しく記載してください。
- ※2 到達目標の欄は、奨励対象事業の実施により得られるであろう成果を踏まえ当該事業の実施後における技術指導を受けた者の方向性を記載してください。
- ※3 技術指導の内容の欄は、スケジュール、指導内容、指導方法等を具体的に記載してください。
- ※4 経歴の欄は、指導に当たる者が有している資格（伝統工芸士等）、これまでの実績（展示会出展歴や表彰歴等）等を記載してください。
- ※5 技術指導に関する計画書その他詳細な資料があるときは、この計画書に添えて提出してください。

